

魁ニュース

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、一方ならぬご厚情を賜り誠にありがとうございました。本年も何卒ご指導とご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

戦後40年、今日のわが国の繁栄ぶりは焦土と化した終戦直後を知るものにとって、想像すらできなかったものですが、その日本を今隣国の韓国・台湾をはじめとして、多くの国々が追いかけてきておりその逞ましいエネルギーは、我々に脅威すら感じさせます。

今我が国は産業革命の真っ只中にありますが、工場ではロボットが今迄人間のしていた仕事をどんどん奪っております。人間でないとできない仕事は減っていつております。それではロボットに職を奪われた人間はどうなるのでしょうか。どういった分野へ行くのでしょうか。

人を増やさなくても商品の生産は増えていきますから之を売り捌いていかねばならなくなり、勢い販売の方に多くの人が使われていくようになります。販売やサービス分野ではロボットが人間に変わっていくことは、まだ無理ですから第三次・第四次産業分野の労働人口は今後も増加していくでしょう。

売るためにメーカーが直接販売活動（余剰社員の吸収策になる）をしたり、新しい流通チャンネルを作ったり、又新しい販売形態をとるなど今迄にない物流の変化が之から一層盛んになると思われまます。

新技術・新素材・情報革命による産業革命は今我々の位置する流通機構をその大きな渦の中に巻き込んで激しく変わろうとしているといえましょう。この変化の動向を正しく読みとり沈没させないようカジ取りをしっかりとらなければならない船長の役割は極めて重大です。

どうか代理店各位のトップの方々には本年もご健康に充分ご留意の上、ご活躍賜りこの1年が輝かしい年となられますよう心よりお祈り申し上げ新年のご挨拶といたします。

☆ 1月の勉基準建値は370円/kgです。

昨年12月の電気銅建値は370円で終始しました。本年1月の電気銅建値は据置で370円/kgでスタートしました。従って1月の勉基準建値は $(370 + 370) \div 2 = 370$ 円となり勉価格は350円超～400円以下の価格帯で変わらずです。

☆とくとくセール所期の成果をあげて終了

昨年10月21日より12月20日迄2ヶ月間行いましたとくとくセールは皆様の絶大なご協力のお蔭をもちまして、所期の成果を達成し無事終了いたしました。まことにありがとうございました。現在皆様よりご請求いただきました景品をお送り申し上げておりますが景品の一部に品切れのため、大変ご迷惑をおかけいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。

社ニュース

立春も近づき暦の上では春の到来も近くなりましたが、寒気は一段と厳しく商品の動きも鈍くてパツとしません。

ところが、銅市況は本年に入ってから堅調な動きで銅建値は59年12月の370円と較べると、30円上がり1月21日より400円となっております。石油・金・アルミ等は上がっていないにも拘わらず銅市況だけ何故上がってきているのかははっきりした理由は判りませんが、次のような事が其の理由として考えられます。

(1) 長く続いている銅価の低迷（59年は1ポンド55セント～65セント）で主として米国の産銅会社（平均コスト85セント）で減産や廃山する鉱山が増え世界の銅在庫が大幅に減り高品位銅の荷繰りが窮屈になってきている。

(2) 4月の特惠関税を狙った日本の買いが増加している。

(1)の状況から考えると世界の平均産銅コストは、1ポンド75セントと言われていることから価格水準訂正の動き（2月1日現在62.2セント）は、まだその途中にあるといえましょう。

因みに75セントは現行為替レートで470円/kgとなり目先440円/kg位の価格がある可能性も、濃いといえましょう。

しかし、(2)の現象は一時的なものですからその反動が銅価を下げる方向に影響することも充分考えられます。

以上のことから相場のことは仲々わかりにくいものですが、58年の電気銅建値の動きと59年の電気銅建値の動き（別表添付）を見て、本年は58年の価格水準までは戻ると考えてよいのではないのでしょうか。

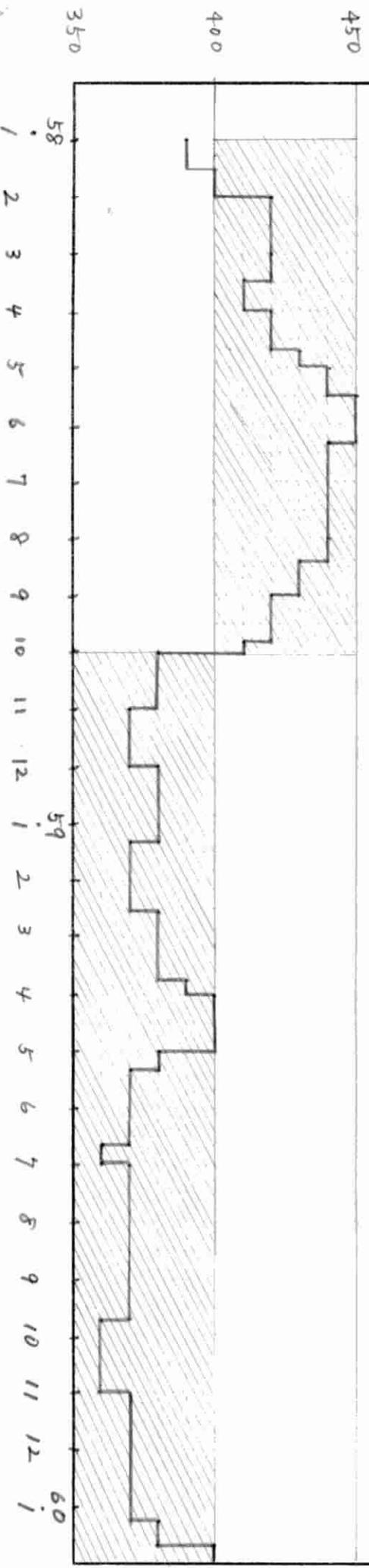
☆ 2月の純基準建値は393円/kgです

1月の電気銅建値は4～9日370円・10～19日380円・21～31日400円となり平均銅価は387円37銭となりました。2月の電気銅建値は400円でスタートしました。従って2月の純基準建値は $(387.37 + 400) \div 2 = 393.68$ となり円未満切捨て393円となります。

純価格は350円超～400円以下の価格帯で変わらずです。

電気鋼建値時と魁価格帯の動き

 = 魁価格帯は斜線で表示してある。



魅ニュース

昨年のことを思うと随分おだやかでしたが長かった冬も去り徐々に春めいてくる季節がめぐってきました。寒くてしかも商品の動きが悪いとなれば、どうしても気が滅入ってしまいがちですが、春の到来ともなれば地中で冬眠していた虫も動きだし、草木も芽ふいて万物が再び活潑に活動するようになるのですから、我々人間が織りなすその経済活動も活潑になる季節が漸く目の前へきたといえましょう。1月・2月の不振をとり戻し、我々にとって本物の春がやってくるよう走りまわって頑張らしましょう。

最近、銅板に表面処理したもので屋根や小庇を葺き上げるケースが目立って増えてきています。硫化銅板とか人工緑青銅板です。硫化銅板は古くからありましたが、近年新しく商品化され目立って増えてきたのが人工緑青銅板です。

人工緑青銅板で葺いた大型物件は新宮殿に始まります。之は東京芸大の小口教授の指導により成型加工したものを現場で大がかりな処理準備の下で化学的に人工緑青が施されました。しかし亜硫酸など人体に有害な薬品が使用される関係で普及化されず又價格的にも非常に高かったため極く一部で使用されるにとどまっていた。

56年、樹脂をバインダーとする人工緑青着色法が開発され、在来のものより比較的廉価であったため人工緑青銅板はこの頃より大型物件に採用されるケースが増えてきました。

58年、三宝伸銅が樹脂をバインダーとして緑青の主成分である塩基性炭酸銅の微粒粉を吹き付ける人工緑青銅板パチナⅠ・パチナⅡの2種類の発売を開始してより大型物件はもとより個人住宅や店舗にも人工緑青銅板を使用するケースが著しく増加して、本年は新たに名乗りをあげるメーカーが増え、愈々人工緑青銅板のマーケットも開発期から成長期を経て爛熟期に入った観がいたします。当社では、現在三宝伸銅のパチナⅠ型及びⅡ型の人工緑青銅板を在庫し即納態勢をとっております。又コイルでの引き合いも増加しておりますので現在ラインを製作中で本年中にはパチナのコイルも在庫し即納態勢を敷くべく予定しております。

更に当社では、多様化してきた緑青銅板のニーズに幅広く対応するため、4月1日より当社独自の人工緑青銅板及び銅条の販売を開始する予定です。詳細は次号の魅ニュースで発表致しますので、その節にはよろしくお引き立て下さいますようお願い申し上げます。

☆ 3月の純基準建値は403円/kgです

2月の電気銅建値は1～9日400円, 12～28日410円で平均銅価は406円84銭となりました。3月の電気銅建値は10円下がり400円でスタートしました。従って3月の純基準建値は $(406.84 + 400) \div 2 = 403.42$ となり円未満切捨て403円となります。

この結果、純価格は58年9月以来18ヶ月振りに400円超～450円以下の価格帯になり、1ランク上がります。

魁ニュース

梅・こぶし・れんぎょう・もくれん・ぼけ そして桜と、春の到来を告げる花が一斉に咲きはじめ、ようやく凌ぎやすい季節になりました。新芽が日々大きく膨らんでいくさまを見ますとなぜか愉しくなり身体の底から活力がつきあげてくるような感じがして春はいいなとあらためて思います。

甲子園では春の選抜野球がはじまり連日熱戦が繰り広げられておりプロ野球も間もなく開幕されます。あちこちのグラウンドで草野球風景も盛んに見られ文字通り球春の季節がやってきました。戸外での活動がしやすい季節になれば建築工事関係も寒かった冬にくらべれば増えてまいりましょう。1～3月は極めて低調な動きで前年比マイナスの売上げ成績になったケースが多いと仄聞していますが、加えて理窟ぬきの安値攻勢で泥沼レースに巻き込まれ利益率の低下に悩んでおられる向きが多いのではないのでしょうか。売上げの拡大が仲々困難な環境で利益率を維持するだけでも大変なことなのに、それが落ちてくれば全てのものが傷つきダメージを受けます。最早売上げの拡大・利益率の確保と社員の尻を叩いてばかりいてもどうにもならない所へ事態は悪化してきております。地域の同業者で情報の交換をこえたより具体的な対策の協議を腹を割ってすべきところに来ておるのではないのでしょうか。

先月の魁ニュースNO. 51で人工緑青銅板・銅条の新製品発売を4月1日より実施するとご案内申し上げておりましたが準備がはかどらず少々遅れることになりました。態勢が整い次第、ご案内申し上げますので宜しくお願い申し上げます。

☆ 4月の魁基準建値は400円/kgです

3月の電気銅建値は400円で終始しました。4月の電気銅建値は据置で400円でスタートしました。従って4月の魁基準建値は $(400 + 400) \div 2 = 400$ 円となり魁価格帯は1ランク下がりがり350円超～400円以下の欄になります。

☆ 5 月 2 2 日 全 板 大 会 開 催 （ 東 京 N H K ホ ー ル ）

恒例の全板大会が本年は東京のNHKホールで開催されますが当社では特設館で魅さきがけと宝雨を出品展示致します。又、5月21日より新発売致します緑青銅板・銅条「緑彩」ROKUSAIの展示コーナーを別に設けます。ご来場の際は是非お立寄り下さいますようお願い申し上げます。

魅ニュース

若葉・新緑・薫風・端午の節句・鯉のぼり・しょうぶ、目に愉しく、肌にさわやかな皐月。

この好季節のゴールデンウィークは日本の自然を満喫するにふさわしい素晴らしい休日を私達に与えてくれます。四季の変化はそれぞれに興味がありますが寒気の厳しい冬とむし暑い夏の間にあるだけに、このすばらしい季節が自然の大きな贈り物に思え、素直に喜び感謝したいと思います。十分な休養でリフレッシュした体力・気力・知力を発揮しこの五月、大いに仕事をしましょう。

☆ 5月の魅建値は416円/kgです

4月の電気銅建値は1～9日400円・10～30日420円で平均銅価は413円33銭でした。

5月の電気銅建値は据置で420円でスタートしました。

従って5月の魅基準建値は $(413.33 + 420) \div 2 = 416.66$ となり円未満切捨て円となります。この結果、魅価格帯は1ランク上がり400円超～450円以下の欄となります。

☆新発売！緑青銅板・銅条「緑彩」ROKUSA I

魅ニュース51号・52号でご案内しました緑青銅板・銅条「緑彩」ROKUSA Iを5月21日より発売致します。「緑彩」ROKUSA Iは天然緑青の主成分である塩基性炭酸銅を極めて耐久性の優れた樹脂をバインダーに厳しい品質管理のもと被覆しており、数々の優れた特徴を有しております。詳しくは別紙同封致しておりますのでご覧下さい。カタログ及び価格表は現在制作中で、出来次第お届け申し上げます。人工緑青銅板については、最近さまざまな商品が登場しておりますので之のPRと営業活動には十分な予備知識をもたねば有効な受注に結びつきにくく又契約上のトラブルを招きやすくいたします。その為貴社の営業部員の皆様やお得意先の皆様に詳しくご説明させていただく機会を設けていただければ幸いであり、貴社の絶大なるご協力をお願い申し上げます。勿論魅についても0.3mmと0.35mmの「緑彩」ROKUSA Iコイルを用意しており受注後1週間位で納品できる態勢を整えておりますので御下命のほどお待ち申し上げます。

尚、従来より在庫販売しております緑青銅板、三宝パチナI型・II型につきましても何卒、ご用命賜わりますよう重ねてお願い申し上げます。

魁ニュース

樹々が鬱蒼と繁り緑陰を一層濃くしておりますが街路を歩くと心持ち日射しが強くなってきたのか並木の葉陰を求めて歩いている自分に気づき、夏の近づきを感じます。衣替えをして蒸し暑い初夏を少しでもさわやかにして凌ぎたいものです。

景気の方は今一つパッとしません。株式市況だけは金利低下傾向を反映して活況を呈しています。日本の貿易収支は引き続き大幅な黒字で海外投資をしてバランスをとっていますが、余りの荒稼ぎぶりに欧米のみならず世界の国々から非難の声が高まっています。昨年の貿易収支黒字444億ドル長期資本収支赤字498億ドルといずれも史上最高でこのことは簡単にいえばガッポリ稼いでそれに利息をつけて海外へ投資をしたということです。力にまかせて荒稼ぎをされることも愉快なことではありませんがその使いっぷりが派手すぎれば反感をそそります。アメリカの立場から見たこの辺も、まず大幅な資本流出を演じ円安ドル高の場面を作りその利点をいかして輸出を伸ばしたということになって我々日本サイドの見方とは全く逆の見方になって、どちらが卵かニワトリかわからなくなってきました。

このような国際収支の姿は日本が成熟国になったしるしだと20世紀初めのイギリスや30～40年前のアメリカの姿と比較して言われたりもします。

たしかに戦前・戦後、そして今日の私達の生活やそのまわりを見廻した時、その変貌振りには一入の感慨とそして一抹の不安をおぼえます。平和であり自由であり豊かであることは素晴らしいことです。その中に生かされていることを素直に喜び感謝する気持ちの一方、ひもじい思いをした日々、下着まで繕っていた母の姿、自給自足ということで肥えくみから丹精をこめた収穫が目前にして一夜の内に盗られてしまった家庭菜園等昔日の事が懐かしく思い出されます。

昨今は日中からピストルの撃ち合いがあったり、パチンコ屋やラブホテルといった虚業が昼間から繁昌するように退廃的・享乐的な面が目につき、随分荒んできていますが自由で豊かであることが果たして幸せなことなのか考えさせられます。

論語に「貧すれば鈍する」「衣食足りて礼節を知る」という教えがありますが本当にそうなのか疑わしくなってきました。盡きることのない欲望を充足するため抑制のきかぬ行動に走るということが、増えてきております。この事はビジネスの社会でも言えるのではないのでしょうか。

衣食足りて礼節を失わないよう、モラルをおとしめないよう家族や会社の部下に指導し自ら意識し行動することが経営者や管理者に課せられた大切な務めになってきたと思います。

つまらぬことを書きましたが戦中・戦後を見てきた50男の繰り言と読み流して下されば幸甚です。

☆ 6月の鋳基準建値は420円/kgです

5月の電気銅建値は1～8日420円、9～14日450円、15～31日430円で平均銅価は431円90銭でした。

6月の電気銅建値は20円下がり410円でスタートしました。従って6月の鋳基準建値は $(431.90 + 410) \div 2 = 420.95$ となり円未満切り捨て420円となります。鋳価格帯は前月同様400円超～450円以下の欄となります。

☆ 鋳の施工説明書ができました

設計事務所・板金業者の方々に技術資料としてご活用いただけるよう施工説明書を制作しました。銅板の特徴・施工上の注意・施工実例集等の内容からなり40頁の豪華冊子です。鋳のPRにご配付下さいますようお願い申し上げます。

☆ 7月1日～7月31日 サマービアーセール開始

平素のご愛顧に感謝し販売促進をはかるため7月1日より1ヶ月間サマービアーセールを行います。本体2%お買い上げ毎にビール券2枚をお届けします。景品の性格上、お買い上げ品納品の際にお届け下さる方が効果が高いと思われまますので当社より代理店様へのビール券の発送は下記の方法で実施致しますのでご了承下さいますようお願い申し上げます。

(ビール券発送方法)

対象商品発送の際同時にお送り致します。紛れないようするため送品伝票にはビール券の枚数を必ず記入いたします。

(ビール券添付期間)

6月26日～7月30日

納品とビール券のお届けを同時にさせていただく方が

効果も高まり事務処理上も簡単になりますので上記の
期間出荷分にビール券を添付いたします。

チラシは6月20日迄に発送お届けいたしますので需要家へ請求書発送の際ご同封下さいますよう
お願い申し上げます。

魁ニュース

ご馳走様でした、お蔭様で満腹いたしましたと丁重にお断りしたくなるほど雨に恵まれますと、この雨を何とかアフリカの方へ持っていけないだろうか神様にお願いしたら、あちらでも神様に雨乞いをしているだろうから神様同志お際合いがあれば、なる話だろうになどと他愛のないことを考えます。神様の世界も余り国際交流はないんでしょうね。

さて、時のたつのは早いもので60年も丁度なかばを過ぎ後半に入りました。前半同様、沈滞ムードでは困りますので後半を盛り上げるためにもこの7月はスタートの月として頑張らねばなりません。先月号でご案内申し上げましたように、魁のサマービアセールを本日より1ヶ月間行いますので絶大なるご支援を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。当社営業担当者には同行セールの強化を申しつけておりますので、お引きまわし下さいますようお願い申し上げます。気候不順の季節柄、体調にはくれぐれもご留意の上ご活躍のほどお祈り申し上げます。

☆ 7月の魁基準建値は401円/kgです

6月の電気銅建値は1~11日410円、12~30日400円で平均銅価は403円50銭でした。7月の電気銅建値は据置で400円でスタートしました。従って7月の魁基準建値は $(403.50 + 400) \div 2 = 401.75$ となり円未満切り捨て401円となります。魁価格帯は前月同様400円超~450円以下の欄となります。

☆ 7月31日までサマービアセール開始

平素のご愛顧に感謝し販売促進をはかるため7月1日より1ヶ月間のサマービアセールを始めました。本体2%お買い上げ毎にビール券2枚(1枚につき大瓶2本)をお届けします。

雨で遅れた工事遅れをとり戻すため施工効率のよい魁をお勧め下さいますようお願い致します。

魁ニュース

連日35℃を越す真夏日が続きますが皆様には暑さにめげずご奮闘のことと存じます。

古来、四季のめぐりくる日本では折々の季節を凌ぐ生活の智慧が住居や衣服食生活にさまざまな工夫をもたらし我々の文化となって定着していました。縁台将棋、夕涼み、盆踊り、地藏盆、胆だめし等 寝苦しい夏の夜に涼をもとめる催しが地域社会のコミュニケーションを盛んにし生活の中に季節がどっぷりつかっていました。子供の頃の夏休みを思い出すとその時の情景が走馬燈のように浮かんできます。盥の行水、夏祭りの夜店のアセチレンガスの匂い、川での水遊び e t c . 夢幻しの如しです。

今日、文明の進歩が季節と生活のかかわり合いを大きく変えました。クーラーとテレビは私達の夏の生活をすっかり変えました。涼を戸外に求める情景は消え、クーラーのよく効いた部屋でテレビでナイターを観戦するといった夏の夜の過ごし方が増えてきているのですから、親子という最小単位でもコミュニケーションが乏しくなっており地域社会はいわんをやであります。

暑い季節は汗をかいてこそ涼の喜びも深まるもの。この夏は仕事にかまけ？在宅時間の少ない父親として、少しでも親子のコミュニケーションを取り戻すべく、ちょっと無理をしても夏休みをとって海水浴かキャンプか昆虫とりも良いでしょう。いい汗かきに出かけませんか。

まだまだ酷暑の折柄、皆様のご健祥をお祈り申し上げます。

☆ 8月の魁基準建値は397円です

7月の電気銅建値は1～15日400円、16～31日390円で平均銅価は394円78銭でした。8月の電気銅建値は400円でスタートしました。従って8月の魁基準建値は $(394.78 + 400) \div 2 = 397.39$ となり円未満切捨て397円となります。

従って魁価格帯は350円超～400円以下となり1ランク下がります。

☆サマービアーセール終了

鮎のサマービアーセールを7月1日より実地致しました処、代理店各位には何かとお忙しいところ格別のご協力ご支援を賜り誠にありがとうございました。残念乍ら所期の目標は達成できずやや低調な成績となりました。私共はこの事実に深く反省し、適切な対策をとるよう検討したいと考えております。皆様よりのご叱声やご指摘を賜りますれば幸甚かと存じますので担当者が伺いました節には、何卒ご意見をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

☆人工緑青「緑彩」ROKUSAIの納期一覧表

銅一文字鮎(さきがけ)シリーズに人工緑青「緑彩」を品揃え致しました。

0.3mm及び0.35mmについてはⅠ型・Ⅱ型とも受注後3~4日で発送致します。0.4mmについては納期を要しますのでご了承下さい。

	152	182A, B	227A, B	303A, B	唐草	ハマグリ
0.3 mm	3日	3日	3日	3日	4日	*
0.35 mm	3日	3日	3日	3日	4日	4日
0.4 mm	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	*	*

☆銅条で1000mm幅のコイルが生産可能

現在市販品では606mm幅が最大幅であり物件向けに受注生産で720mmのものが最大幅でしたが最近1000mm幅の生産が可能になりました。内戸樋の場合施工能率が大幅に向上します。

又、他の素材から転換される新需要も見込めると思います。現在の所、受注生産ですがお引合いを賜りますようお願い致します。

魁ニュース

残暑とはいえ、ことしはいつまでも真夏日が続きますがさすが陽の落ちる頃より虫のすだく音にそろそろ秋の気配を感じます。8月には戦後最大といわれる三光汽船の倒産がありました。実質オーナーといわれる河本氏が起死回生策として打たれた大量の船舶発注も84年85年の世界的な景気回復で国際貿易が活発になれば用船需要が高まり用船料も高騰するという読みの下に打たれた経営戦略であったのですが結果ははずれ倒産のやむなきにいたったようであります。

戦後30年間 大量生産 大量消費に象徴される高度成長経済からオイルショック後のこの10年はいわゆる軽薄短小に象徴されるように経済の流れが大きく変わり過去のどんな教科書にも書かれていない又どう変わっていくか解らない変化をしております。

三光汽船の倒産は過去の経験法則が通用しなくなっている典型的な例でありましょう。どのように変わったのかを見究めどう対処していくか針路を決める船長のように経営者の責任は極めて重大でその判断の正否次第が企業の命運を左右することを痛感いたします。

☆ 9月の魁基準建値は383円です

8月の電気銅建値は1～11日 400円、12～31日 380円で平均銅価は386円36銭でした。9月の電気銅建値は380円でスタートしました。従って9月の魁基準建値は $(386.36 + 380) \div 2 = 383.18$ となり円未満切り捨て383円となります。

魁価格帯は前月同様350円超～400円以下の欄となります。

☆エキスパンション工法の捨板は無償です

勉の設計資料7頁から8頁にかけて温度伸縮による「あばれ」のことが書かれております。「あばれ」の発生を防ぐには釘が良く効くしっかりした下地に吊子を数多く使ってとめていくことが肝要ですが更にエキスパンションジョイント工法を施しますとより完全になります。

これは つなぎタテハゼの部分で一方の上と、もう一方の下を切り欠いて葺き板が左右になめらかに動くようにし、雨水の浸入を防ぐためその部分に捨板を当てるというものです。(勉設計資料8頁に詳細掲載) このエキスパンションジョイント工法に使用する捨板は本体3枚(5400m/mの長さ)に1枚の割合で使用いたします。当社では皆様よりご要求によって無償で添付することにしておりますのでお取引先にこの工法をお勧め下さるようお願いいたします。

月刊板金ジャーナル8月号に人工緑青銅板の特集記事及び当社社長談話が掲載されておりますので同封ご送付申し上げますのでご一読賜りますようお願い申し上げます。

魁ニュース

漫珠沙華が咲き、金木犀の芳香が漂いはじめ秋たけなわの好季節になりました。皆様には益々ご壮健にてご活躍のことと存じます。ご高承の如く9月24日報じられたドル安円高のニュースは、原材料市況には多大の影響を与え、非鉄地金相場は軒並み下がり銅は53年の価格水準まで下がり、10月1日以降の建値は一挙に4万円下がり、屯34万円になりました。為替レートがどの辺で落ち着くのか今暫く日時の経過を待たねばなりません、いずれにしても需給関係の好転が見込めない現状では市況反発は可成先のことと考えられます。むしろ輸出大国となった日本に対する外圧が一層厳しさを増し、景気の見通しが暗いものになってきていることが我々にとっては極めて肝要なことであり、これに対する対応策を速やかにとらねば大変なことになりはしないかと懸念されます。皆様のご健闘をお祈り申し上げます。

☆ 10月21日より2ヶ月間**“ 得屋根セール ” 実施**

日頃のご愛顧に感謝し併せて一層のご愛用者拡大のため“ 得やねセール ” を行います。関西訛りの「得やねン」とひっかけて得屋根セールと銘うちました。繁忙期にその作業性の良さを大いに活用していただいて売上と利益の向上に寄与していただきたいと願っております。受注に結びつけるには私共メーカーの営業マンをご同行下されば、より効果もあがろうかと存じますので何卒どしどしご用命下さいますようお願い申し上げます。チラシは今月15日前後にお手許へお届け申し上げます。代理店の皆様の絶大なるご支援、ご協力を謹んでお願い申し上げます。

☆ 10月の魁基準建値は360円/kgです

9月の電気銅建値は1～30日1ヶ月間380円で終始しました。10月の電気銅建値は40円下がり340円でスタートしました。従って10月の魁基準建値は $(380 + 340) \div 2 = 360$ 円となります。魁価格帯は前月同様350円超～400円以下の欄となります。

魅ニュース

菊花薫り、樹々が色づく晩秋の季節になりました。朝夕は肌寒さを覚える日もあり、日中は汗ばむほど暖かい日もあり、こんな時は風邪のひきやすい時ですから皆さんご注意が肝要です。

苦節21年、今年も駄目かなと不安を抱きながら期待するファンに応えた阪神タイガースの久々の優勝に関西は今、フィーバーしています。1000億の需要創出といわれていますが日航機墜落事故等、暗いニュースが多かった関西では久しぶりの明るい話題といえましょう。常に挑戦する姿勢を貫ぬき、投手力の弱いチームから優勝チームは出ないという常識をうち破った吉田監督の手腕も高く評価されますが、一旦調子の波にのり好循環がはじまると協力ムードで全員がまとまり総合力が発揮されいい結果が又次のいい結果をよびこみ、一部の不協和音もいつか消えて終わったのが、今迄の阪神タイガースには見られなかったことで、優勝という大きな目標が達成できた一番の要因はこのへんにあるのかも知れません。私共の会社においても、このような範例から学びとる処は多々あるといえましょう。非常識を常識に、不可能を可能にするものは全員一致の飽くなき挑戦だといえないでしょうか。

☆魅価格帯は1ランク下がり350円以下の欄です
10月の電気銅建値は1～24日340円、25～31日350円で平均価格は342円27銭でした。11月の電気銅建値は330円でスタートしました。従って11月の魅基準建値は $(342.27 + 330) \div 2 = 336$ 円14銭となり円未満切り捨て336円となりました。従って11月の魅価格帯は1ランク下がり350円以下の欄となります。この価格帯になりますのは魅発売以来初めてのことであります。

☆キャンペーンセール〆得屋根セール〆実施中

魅ニュースNO. 58号でご案内申し上げましたとおり10月21日より2ヶ月間のキャンペーンセールを実施しております。魅価格も工事店渡し価格で8～9%下がり而も景品つきですので非常に売り込みをかけやすいチャンスでないかと存じます。魅ご愛用のお客様はもとより拒絶タイプのお客様にも千載一遇の機会でございますので強力にお勧め下さいますようお願い申し上げます。

魅ニュース

本年も最後の月に入りました。一つの区切りをつける月ですから先伸ばしにできないことが一杯あるのも、この月です。お歳暮・ボーナス・年賀状書きなど片付けねばならぬことが山程あります。「お正月なんていらんわ」とつい言いたくなりますが、ケジメがないとついだらだらと流されてしまうので鞭打って頑張らないとしょうがありません。

本年を振り返りますと海外ではメキシコ大地震・コロンビアの火山爆発による土石流・国内では日航機墜落事故等、大きい災害がありました。国内の経済面ではなんとといっても9月の円高でしょう。日本経済への外圧は一段と強まり、日本の経済政策への干渉は揚げ足とりと思えるほどうるさくなってきました。輸出産業の海外への工場進出がトヨタが重い腰を上げるなど拍車がかかってきたのも今年の特徴といえましょう。海外へ進出した工場が現地で素材を調達すると、日本国内の素材メーカーは受注が減りますから大変です。明るいニュースといえば何といっても米ソ首脳会議です。主義主張の異なる両国が猜疑心を捨て軍縮に成功すれば、両国の経済は繁栄し、それが齎らす世界への影響は極めて大きくなるといえます。果たしてそのような展開に繋がっていくか注目されるどころです。

魅さきがけに関しては本年は11月に基準建値が350円を割り336円となりました。この為価格帯は350円以下の欄になりましたが之は発売開始以来初めてのことで、之もこのたびの円高がもたらしたもので銅に限らず非鉄金属はなべて53年の価格水準（この時1\$=180円）まで逆戻りしております。11月30日付けの日経新聞にチリ銅公社ピノ副社長の談話が掲載されましたが「市況対策としての減産は全く効果のないもので過去に行ったこともあるが、ことごとく失敗している。OPEC（石油輸出国機構）ITC（国際すず理事会）が良い例で、我々がやらねばならないのは消費の拡大とコストの引き下げである」と述べています。世界最大の銅輸出国であるチリが減産せずに、むしろ増産するのは銅の輸出に最大の外貨収入を依存する国故、やむを得ないことで、これらの背景から別の供給阻害要因が出てこない限り銅市況は当面回復しないと考えられます。

さて明年はどんな年になりますでしょうか。年々その目が粗くなってきた篩（ふるい）に掛けられてるとも言える今日、ふるい落とされないように精一杯頑張らしましょう。「虎穴に入らずんば虎児を得ず」やらなきゃ何も出来ませんよの教え。我が愛する阪神タイガースの吉田監督は、いつも挑戦とって見事優勝の栄冠を勝ちとりました。寅年は何をしておき挑戦しましょう。

この一年大変お世話になり格別のご愛顧を賜りましたこと紙上を借り厚くお礼申し上げます。どうか来年もよろしくお願ひ申し上げます。最後に貴社のご繁栄と社長様はじめ皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

☆得屋根セール最後の追い込みへ

10月21日から始まりましたセールも12月20日に終了します。価格的にも使いやすくなっておりますので、ユーザーの方々へお勧め下さいますようお願い申し上げます。

☆セール景品の申し込みにについて

セール景品について中間集計でお申し込みいただくか又は12月20日終了後すぐお申し込み下さるようお願い申し上げます。年内に発送させていただきます。ユーザー様へ新年の挨拶まわりにお届けいただければお年玉のような印象になり、より良いのではないかと存じます。

☆12月の魃基準建値は325円/kgです

11月の電気銅建値は330円で終始しました。12月の建値は10円下がり320円でスタートしました。従って12月の魃基準建値は $(330 + 320) \div 2 = 325$ 円となります。価格帯は先月同様350円以下の欄です。

☆年末・年始休業のご案内

年末の業務は12月28日（土）で終了させていただきます。仕事始めは1月6日（月）でございます。12月29日より1月5日迄8日間休業させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

☆建築用広幅銅条の発売開始

古河電工が建築用広幅銅条の製造発売を始めました。当社では0.35mm・0.4mmの914mm幅1000mm幅でジャンボコイルと20Mコイルを在庫しますのでご用命賜りますようお願い申し上げます。